

第7回 愛媛県介護老人保健施設大会

3月1日(土) ウェルピア伊予(伊予市)にて、第7回愛媛県介護老人保健施設大会が開催されました。今大会では42題の発表があり、当施設からも1題の演題を発表したので、少し紹介します。

題目: あなたらしさを大切にします ～在宅復帰までの道のり～

発表者: 守口 法子(支援相談員)

なんぐん館の理念は、『あなたらしさを大切にします。』その理念に近づくため、ターミナルケアや、職員の自己を知るための研修を現在も重ねている。老健の役割である在宅復帰支援を、平成25年2月から本格的に取り組み始めた。

- (方法)
1. 在宅復帰のクリティカルパス(入所前から退所後までの支援の流れを記入したもの)を本人、家族用と職員用を作成。
 2. 職員教育(クリティカルパスをもとに勉強会を開催)
 3. 在宅復帰を入所目的とする方の入所の優先。
 4. 初回の面接時、「家に帰るためになんぐん館に入所して行こう」等、目的を明確にするだけでなく、それを具体的にした。
 5. 家族参加のカンファレンスは必須。
 6. 入所前、退所前の訪問指導は必ず在宅で行う。
 7. 在宅復帰後の本人、家族の不安を解消するため、居宅ケアマネと連携する。

(結果) 在宅復帰率が平成23年度12%から52%にあがる。平成25年8月からは在宅復帰在宅療養支援機能加算も算定できるようになった。

(考察) 結果がでた要因は、1. 職員の意識の変化 2. なんぐん館が苦手だった①入所目的の明確化とカンファレンスへの家族参加案内②入院者を減らす取り組み(早期の発見、治療) 3. 県立南宇和病院地域連携室との密な連携のもと、「在宅復帰」という目標を共有し支援できたことだと考える。

(終わりに) 在宅復帰の利用者の中には、入退所を繰り返す方もいる。そのような利用者が在宅復帰といえるのかという疑問もあったが、ご本人からは『在宅で生活したいから入所する』ご家族からは『また入所できるから介護が、がんばれる』といった声も聞かれる。支援の方法は様々である。私たちは個人をしっかりと見つめ、『あなたらしさ』とは・・・を日々考えられる支援者でありたいと思う。

節分

鬼は外～福は内！！今年も元気なかけ声で鬼を退治しました。 最後は鬼と記念撮影

